



たかむく 2025

明章小学校

学校だより第12号

令和7年10月29日

いじめアンケートを実施して

9月29日から10月10日まで、保護者の皆さんにいじめのアンケートを実施させていただきました。ご協力いただきありがとうございました。

今回のアンケートでは、35件の回答が寄せられ、いじめではないかというご指摘を2件いただきました。現在、生徒指導担当を中心に対応しているところです。

本校では「いじめは、どの子どもにも、どの集団でもおこりうる重大な人権侵害で、決して許されるものではない」ということを念頭に起き、いじめの未然防止をするとともに、いじめの早期発見・早期対応をしています。

「からかい」や「じゃれあい」等、「この程度？」と第三者が思うことでも、「された側」が心身の苦痛を感じているものは「いじめ」として捉え、学校も子どもも保護者も対応する必要があります。自分がされたら「いやだな」と思うことを、相手に言ったり、したりしないということが基本ですし、自分は平気でも、相手が「いやだな」「つらいな」と思えば、「いじめ」になることも知っておく必要があります。人の感じ方はそれぞれ違います。どうやって言えば、正しく相手に伝わるのか、相手を傷つける言葉や暴力で解決できることはあるのかなど、子どもたち一人ひとりにじっくりと考えさせていきます。

誰もが「いじめの被害者」にもなり得ますし、「いじめの加害者」にもなり得ます。多くの場合、「やった」「やられた」の関係で被害と加害が逆転することもあります。

「前に、○○されたから」という理由を述べることもありますが、それは「いじめてよい」という理由にはなりません。だからこそ、私たち教職員や保護者、周囲の大人们たちが「つらい」と感じている子どもの話を傾聴するとともに、それまでの背景や人間関係についても聞き取り、冷静に判断し、対応する必要があります。

そのためには、普段から子どもの話を聞くことがとても大切になってきます。「おうちの人には心配をかけたくない」「友だちとの関係が壊れてしまうかもしれない」「仲間はずれにされてしまうかもしれない」と子どもなりにいろいろと悩み、考える中で、いじめられていても、誰にも相談できず、ずっと我慢をしている子どももいるかもしれません。しっかりと子どもたちを見守り、我慢する子どもをなくすように努めています。もし、お子さんことで気になることがあれば、遠慮なく学校にお話ください。

本に親しみ取り組み

10月から11月にかけて、子どもたちが本に親しみ、図書室の本を借りて読むことを促す取り組みを行っています。児童玄関には読書パズルの掲示があります。学校訪問で来てくださった司書さんが図書室を飾ったり、秋におすすめの本をディスプ

レイしたりしてくれています。また、朝自習の時間を読書の時間にしています。



ご存じのとおり、読書の効果についてはだいたい次のようなものが期待されます。

- ①心を穏やかにさせる
- ②脳の働きを活性化させる
- ③記憶力・集中力が向上する
- ④言葉（語彙）が増え、表現力が高まる
- ⑤想像力が高まる

上記の効果は、全国学力学習状況調査や他の調査でも明らかになっているところです。また、読書をすることにより「人生が豊かになる」と言えます。

ゲームやYouTubeなどの動画視聴は楽しいと思います。それらと比べたら、読書は退屈でつまらないものになってしまい、本を読む楽しさを味わわない子どもが増えています。読んだ方がいいことをわかっていても、なかなか読書に気持ちが向かないのは仕方のないことかもしれません。しかし、ゲームなどの楽しさしか知らないのは残念なことです。読書だけでなく、世の中にはたくさんの楽しいことがあります。もちろんすべての楽しさを経験することは不可能ですが、目の前にある本を読む楽しさを味わおうとしないのはもったいないです。

だからと言って、読みたくないのに無理やり取り組ませようとしても逆効果にしかなりません。勉強もそうですが、子どもたちが取り組んで「楽しい」と感じられるように工夫していくしかないのでしょうか。

お知らせとお願ひ

■ 更衣について

11月4日(火)より完全更衣となります。上着を着用して登校させてください。ネクタイ・リボンを忘れずにつけてください。

■ 2学期の保護者会について

前号でお知らせしたとおり、12月11日(木)に行います。懇談順などはあらためてお知らせします。